

第2回 神戸市公立大学法人評価委員会 議事要旨

- 1 日時 平成19年3月23日(金) 15:05～15:50
- 2 場所 神戸市外国語大学 本部棟2階大会議室
- 3 出席者
 - 委員 井野瀬久美恵委員、谷沢実佐子委員
(欠席：畠一彦委員、大西音文委員、庄垣内正弘委員)
 - 事務局 外大学長、外大事務局長、外大事務局参事 ほか
- 4 議題
 - (1) 第1回神戸市公立大学法人評価委員会議事要旨について
 - (2) 公立大学法人神戸市外国語大学業務方法書案について
 - (3) 公立大学法人神戸市外国語大学の役員報酬等の基準(案)について
 - (4) 公立大学法人神戸市外国語大学中期計画骨子について
 - (5) 今後の進め方について
 - (6) その他
- 5 議事の進行について

大西委員が急遽欠席となり同委員には後日報告し、意見を求めることとし、また、委員長が欠席につき、委員長代理の井野瀬委員が議事進行を行うこととなった。
- 6 議事
 - (1) 第1回神戸市公立大学法人評価委員会議事要旨について
資料1を確認のうえ了承された。
 - (2) 公立大学法人神戸市外国語大学業務方法書案について
 - (3) 公立大学法人神戸市外国語大学の役員報酬等の基準(案)について
資料2「業務方法書(案)」及び資料3「役員報酬等の基準(案)」について事務局より一括説明をした。
本件については了承され、別紙「意見書」のとおり取りまとめられた。後日、大西委員の意見聴取後、市長へ提出することとされた。
 - (4) 公立大学法人神戸市外国語大学中期計画骨子について
資料4「中期計画の骨子」について事務局より説明した。
まだ、骨子の段階であり、本日の意見を踏まえた計画案を策定し、次回審議をすることになった。
 - (5) 今後の進め方について
資料5「委員会の今後の進め方について」を事務局より説明した。なお、新たな法人担当窓口である「行財政局」

の紹介がなされた。

7 中期計画に対する意見

- 外国語大学だからこそできる人材の育成を具体的に社会及び教育の場に提言してほしい。
- 大学がどういうことを行っているかという情報が学生に伝わりまた今大学が目指していることを教職員が共有できるようなシステムの構築を図るべきと考える。
- 他大学との連携のあり方のようなことを盛り込めないか。神戸や関西という地域を超え、さらには海外などグローバルな視点から検討してもらいたい。
- この地域が外国語大学を抱えている意味、意義が何かを訴えてほしい。それを教職員の間で徹底すると魅力的な形になるのではないか。
- この地域が外国語大学を抱えているメリットは大きいと思う。
- 今後少子化で若者は減少するが、異なるキャパシティで人は増えてくる。今までとは違う目線が見直され、求められてくると思う。
- 大学院については、どういう力をつけて出ていけばいいのかが昔とは違っている。その点を踏まえて検討してほしい。